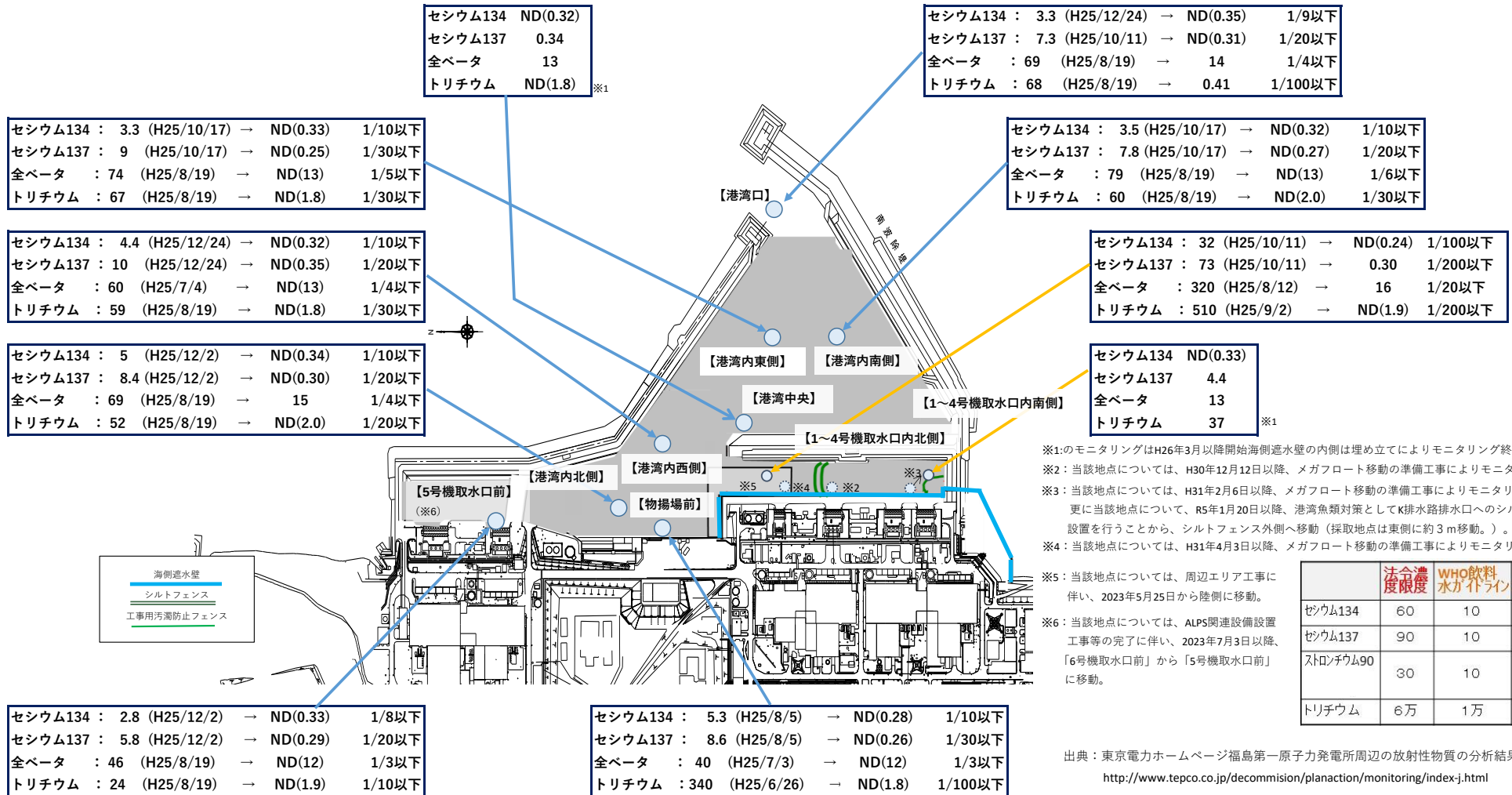


港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(3/2-3/23採取)』の順、単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

令和8年3月24日までの東電データまとめ

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。



港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 2/23- 3/23採取）

令和8年3月24日までの東電データまとめ

	法定濃度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.36)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.21)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.33)

【港湾口東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.29)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18)	→	ND(0.32) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25)	→	14
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18)	→	ND(0.32) 1/20以下

【港湾口南東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.33)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.34)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.33)

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.31)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.25)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18)	→	ND(0.36) 1/20以下

【北防波堤北側(沖合0.5 km)】

【港湾口】

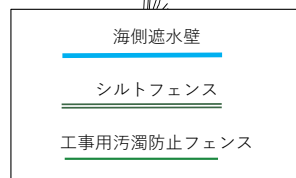
セシウム134	: 3.3 (H25/12/24)	→	ND(0.35) 1/9以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11)	→	ND(0.31) 1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19)	→	14 1/4以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19)	→	0.41 1/100以下

【南防波堤南側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.39)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.36)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.32)

セシウム134	: 1.8 (H25/6/21)	→	ND(0.83) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17)	→	ND(0.83) 1/5以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23)	→	10
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26)	→	ND(0.32) 1/20以下

【5,6号機放水口北側】



注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

【南放水口付近（※）】

※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。

出典：東京電力ホームページ 福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>